



インスピレーションになる

国際ロータリークラブ第2780地区 茅ヶ崎中央ロータリークラブ



2019年5月21日(火) 第1676回 夜例会 週報担当 クラブ広報委員会

◇「場所」：ルアンビル5F

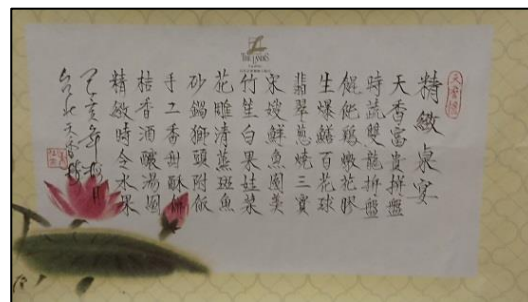
◇「点鐘」 山本会長

◇「歌唱 我等の生業」 親睦委員会 嵯峨野会員

◇「来賓紹介」 松岡会場監督

来賓はみえていません。

◇「会長挨拶」 山本会長



台北北門 RC の 32 周年記念例会に行っておりました。
参加者は、嵯峨野夫婦、當間次年度会長、松岡会員の奥様、小川会員、山本夫婦計 7 名
でお疲れ様でした。

また、先週土日に開催された産業フェアでポリオ撲滅キャンペーンに参加の会員の
皆さんお疲れ様でした。
昨年 10 万円程の募金が今年は 16 万円ほど集まったとの事です。



会長 山本 泰然



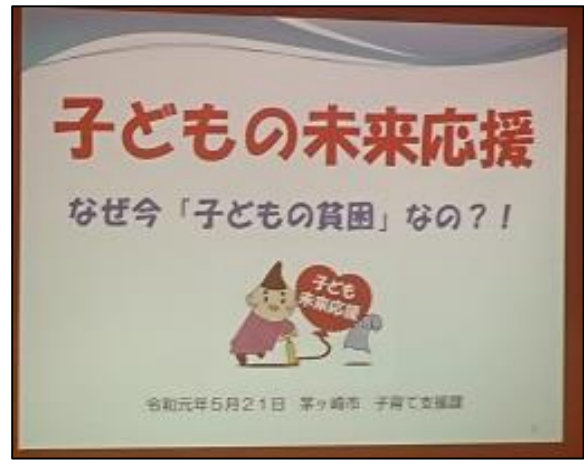
幹事 湯山 文夫

◇「幹事報告」 湯山幹事

連絡事項は事務局報告の通りです。
本日は諸事お祝い、結婚記念となっています。
本日例会終了後理事会を開催します。

◇「茅ヶ崎市市役所子育て支援課様より子供の貧困についての話」

小川課長様、横山様、長谷川様 3名
来場いただき、横山様より説明がありました。
横山様より説明がありました。



今、日本の7人に1人の子供が貧困です。

貧困の概念としては

絶対的貧困 最低限の衣食住を満たす程度の生活水準が欠けている状態

相対的貧困 通常手に入れられるような物やサービスが得られない、経験できない状態

絶対的貧困は先進諸国においてほぼ撲滅しているという前提があるので、日本を含めた先進諸国の貧困では相対的貧困を用いることが多く、子供の貧困率も相対的貧困の概念で算出されています。

貧困の問題点

昔の 貧乏 は、皆が貧しく「ない」のが当たり前であるが、未来への希望がありました。

今の 貧困 は、一部の人だけが貧しく、あるのが普通。しかも未来への希望がない。

→ 格差社会、貧富の格差 が増大しており、劣等感を抱いている。

国として こどもの未来応援国民運動 を立ち上げ、貧困対策に乗り出している。

茅ヶ崎市としては子供基金の立ち上げを6月の市議会に上程予定しており、基金の使われ方イメージとしては、

①1人親家庭の就労支援（生活の安定化）

②子供の居場所(子供食堂や学習支援)

③貧困の連鎖対策

などを支援する形をイメージ。

市内でも未就学児の抽出で4, 5%が貧困家庭であり、一人親家庭においては40%以上という数字もある。

茅ヶ崎市議でもある山田35周年事業委員長からも、子供応援基金に関する進行状況等の補足説明がありました。



◇「諸事お祝い」 結婚記念お祝い 山口会員、湯山会員、三澤会員、高橋会員



湯山会員よりひと言。 すっかり記念を忘れていました。RC と同じで 35 周年です。

◇「委員会報告」

35 周年事業委員会 中川実行副委員長より 進行状況の報告。
記念事業のポスターについて印刷が出来上がり、市内 250 箇所貼られます。
A4 サイズのポスターは近隣 RC キャンペーン等で配布します。



◇「その他報告」

特になし。

◇「出席報告」 親睦委員会

一杉会員より

内容は事務局報告の通りです。

◇「スマイル報告」 親睦委員会

本間会員より。

内容は事務局報告の通りです。

◇「今年度事業報告」



松岡会場監督委員長
秩序正しく運営できた。
クラブのグループLINE 設定。



中川クラブ奉仕委員会理事
35周年副実行委員長兼務で
親睦は大変でした。



藤原クラブ戦略委員長
法人会員の件。
強新入会員が来ていない。



湯山幹事
終わりまでしっかりやって
いきたい。
いきたい。



峯山 35周年実行委員長
記念式典後の台北北門 RC、
しんじ湖 RC 共よく接待できた

◇「点鐘」 山本会長

以上です